Special Exhibition

MOCO Collection Omnibus

—Debut Appearances and Comebacks—PART 2

特別展

MOCOコレクション オムニバス

—初公開・久々の公開—

PART 2

2026.4.11｜土｜——8.2｜日｜

大阪市立 東洋陶磁美術館
THE MUSEUM OF ORIENTAL CERAMICS, OSAKA

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26 電話：06-6223-0055 https://www.moco.or.jp

［休館日］月曜日、5月7日（木）、7月21日（火）
※但し、祝日の5月4日（月）、7月20日（月）、および4月27日（月）、7月27日（月）は開館
［開館時間］午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
［入館料］一般1,600（1,400）円、高校生・大学生800（700）円
※（ ）内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、障がい者手帳などをお持ちの方（介護者1名を含む）、大阪市内在住の65歳以上の方（要証明）は無料 ※上記の料金で館内の展示すべてをご覧いただけます
［主催］大阪市立東洋陶磁美術館 ［共催］毎日新聞社

［右上］色絵美人文六角大壺（いろえびじんもんろっかくおおつぼ） 江戸時代（1700–1730年代） 有田窯 写真：三好和義 ［右下］青花鉄砂葡萄山水文八角形水滴「癸卯六月日分院」銘（せいかてっしゃぶどうさんすいもんはっかくけいすいてき きぼうろくがつひぶんいんめい） 朝鮮時代・1783年 写真：六田知弘 ［左上］青花牧牛図皿（古染付）（せいかぼくぎゅうずさら こそめつけ） 明時代（17世紀） 景德鎮窯 堀尾幹雄氏寄贈 ［左中］織部彈香合（おりべはじきこうごう） 桃山時代（17世紀前半） 美濃窯 松恵コレクション 写真：加藤成文 ［左下］濱田庄司 青釉白黒流掛大鉢（あおぐすりしろくろながしかけおおばち） 昭和26年（1951）頃 堀尾幹雄氏寄贈

Special Exhibition

MOCO Collection Omnibus

—Debut Appearances and Comebacks—PART 2

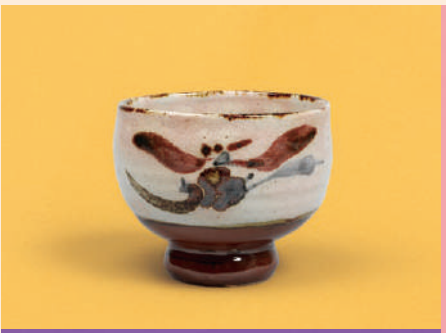
特別展

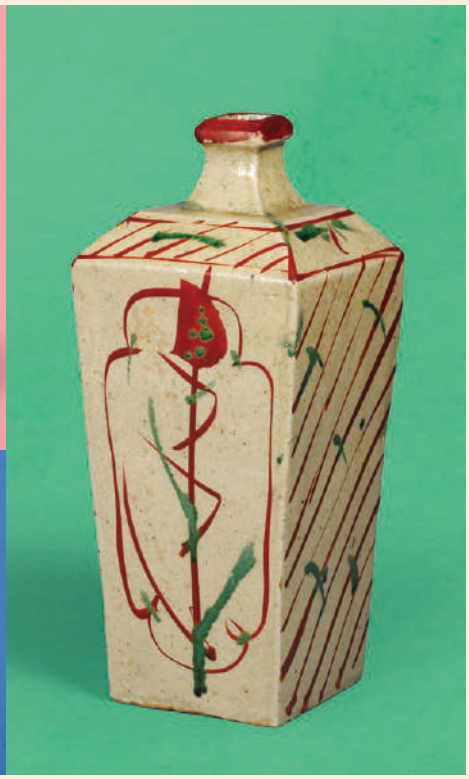
MOCOコレクション オムニバス

―初公開・久々の公開―PART2

当館は、旧安宅産業株式会社が収集した世界屈指の中国・韓国陶磁コレクションである、「安宅コレクション」965件を住友グループから寄贈されたことを記念して、1982年11月に開館しました。また、1996年から1998年にかけて、李秉昌（イ・ビョンチャン）博士から韓国陶磁を中心とするコレクション351件の寄贈を受けました。実は、これらの核となるコレクション以外にも、開館以来40年余の間に、篤志家（とくしか）の方々から様々なコレクションが当館に寄贈され、収蔵品の質と量が拡充されてきました。

本展では、ほとんどが初公開となる茶道具を中心とした「松惠（しょうけい）コレクション」のうち、PART1で紹介しきれなかった作品や、久々の公開となる輸出用の古伊万里コレクション、民藝運動を主導した陶芸家濱田庄司（はまだしょうじ）の作品を中心に、明時代に中国の景徳鎮窯で日本向けにつくられた「古染付（こそめつけ）」などを含む「堀尾幹雄（ほりおみきお）コレクション」、朝鮮時代につくられた文房具のひとつである水滴のコレクションを、オムニバス方式で紹介します。





1. 河井寛次郎 花碗（はなわん） 昭和15年（1940）頃 松惠コレクション 写真：加藤成文 2. 五彩更紗文皿（天啓赤絵）（ごさいさらさもんさら てんけいあかえ） 明時代（17世紀） 景徳鎮窯 堀尾幹雄氏寄贈 3. 色絵傘美人文皿（いろえかさびじんもんさら） 江戸時代（1700–1730年代） 有田窯 写真：三好和義 4. 青花鯉形水滴（せいかこいがたすいてき） 朝鮮時代（19世紀） 写真：六田知弘 5. 濱田庄司 赤絵角瓶（あかえかくびん） 昭和31年（1956）頃 堀尾幹雄氏寄贈 ＊作品は全て大阪市立東洋陶磁美術館蔵

関連プログラム

1.「いまこそ聞きたい」シリーズ講座

各テーマをわかりやすく解説する初心者向けの講座です。

- 2026年5月9日（土）「伊万里ってなに?―ヨーロッパを魅了した日本磁器―」
  小林仁（当館 学芸課長代理）
- 2026年6月13日（土）「民藝ってなに?―濱田庄司と河井寛次郎を中心に―」
  梶山博史（当館 学芸課長代理）
- 2026年7月4日（土）「水滴ってなに?―朝鮮時代の文人世界―」
  宮﨑慎一郎（当館 学芸員）

いずれも午前10時30分～12時／午後2時～3時30分（1日2回）
※午前10時30分からの部と午後2時からの部の内容は同一です。

参加費 500円（別途入館料が必要です）
［会場］大阪市立東洋陶磁美術館 地下講堂

- 事前申込制・先着順（各回定員45名）

※約1カ月前から詳細情報が公開されます。当館ホームページのチケット購入画面からお申し込みください。

2. おしゃべりOK! ないてもOK! MOCOファミリースペシャルデー

- 2026年7月27日（月） 午前9時30分～午後5時

美術館にお子さん連れで行こうと思っても、お子さんが泣いたり、騒いだりして、なかなか行きにくいな、という保護者の方々が多いのではないでしょうか?
そんな皆様のために、赤ちゃん、お子さん連れでも気兼ねなくご覧いただけるよう、特別な開館日を設けました。ベビーカーもご利用いただけます。館内には授乳室もあります。
普段の美術館では、できるだけ静かにご覧いただくようお願いしていますが、当日はご家族やお友達と楽しくお話ししながらご覧いただけます。
※イベントの主旨にご理解をいただける方は、お子さん連れでなくても入館可能です。

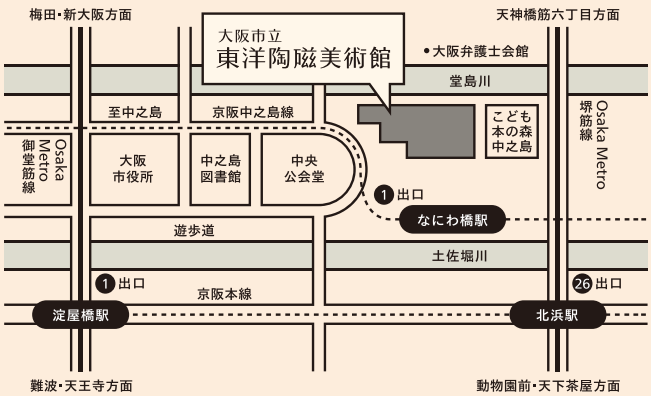
同時開催

特別展示

1 国宝「油滴天目茶碗」（展示ロビー1）　2「青花虎鵲文壺」（展示ロビー2）

コレクション展

「純真之美―李秉昌コレクション韓国陶磁」（展示5）
「至高雅器―安宅コレクション中国陶磁」（展示9）
「清廉雅品―安宅コレクション韓国陶磁」（展示11）
「泥土不滅―現代陶芸コレクション」（展示13）
「喜土愛楽―現代陶芸コレクション」（展示8）
「天青無窮―安宅コレクション中国陶磁」（展示10）
「百鼻繚乱―沖正一郎コレクション鼻煙壺」（展示12）



大阪市立 東洋陶磁美術館
THE MUSEUM OF ORIENTAL CERAMICS, OSAKA
〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26
TEL 06-6223-0055（代表） https://www.moco.or.jp

［アクセス］
- 京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ
- Osaka Metro 御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅から約400m
- Osaka Metro 堺筋線・京阪本線「北浜」駅から約400m